



1 田島高校とふくしまゼロカーボン宣言

(1) 歴史

平成 21 年度（2009 年度）にはじめて「福島議定書」事業に参加して以来、二酸化炭素の削減目標の達成に向けて、生徒と職員が一体になり、省エネルギーに取り組んできました。そして、令和 4 年（2022 年）に新しく生まれ変わった「ふくしまゼロカーボン宣言」事業においても、限りなき挑戦を続けています。

(2) 主な取組

① 宣言書、参加賞の伝達・掲示



② オリジナルポスターを作成し、教室、執務室、昇降口、職員玄関、廊下掲示板など、校内各所に掲示 ⇒ すぐ目につくところに「ペタペタ大作戦！」



③ 9月及び10月を校内強化月間に設定

⇒ 事業の節電・節水期間に併せて設定しています。

④ 最終退室者(最終利用者)が、必ず消灯

⇒ 選択授業などにより教室を移動する機会が多い学校ですが、生徒一人ひとりに習慣化しています。

⑤ 手洗いやうがい時における節水

⇒ 感染対策でも、最小限の使用を徹底しています。

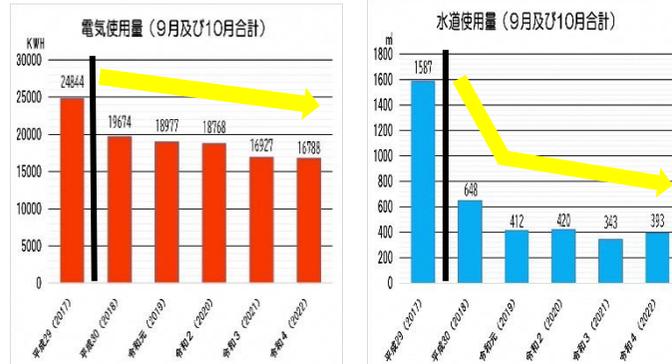
⑥ ペットボトルキャップ回収運動の展開

⑦ 教職員の時間外労働時間の削減

⇒ 社会問題である“多忙化”を解消し、学校における節電と節水も実現します！

2 田島高校の省エネルギーの実績

お恥ずかしながら、本校は、珍しい取組はしていません。生徒、教職員の一人ひとりが、**着実かつ確実に**省エネルギーを意識し実践することにより、二酸化炭素の削減目標を達成しています。



4 保護者、地域の皆さんへの発信！！

皆さんに注目していただけることが、私たちにとっての大きな**エネルギー**です。



保護者宛メール ホームページ 南会津町広報誌

※ 大雨や大型台風の接近、大雪の際、保護者宛メールを活用して注意喚起することにより、生徒、家族、職員の間での情報の共有化と安全の確保に努めています。

3 田島高校の伝統、新しい挑戦！

(1) “雪かたし”による地域貢献が省エネに！？



本校がある南会津町は、県内でも有数の豪雪地帯として知られており、平成 21 年度（2009 年度）から毎年冬に、町内の各行政区を訪問して、除雪ボランティアに取り組んでいます。

重機や除雪機の動力は、化石燃料であるため、生徒たちによるスコップや除雪用そりを用いた除雪は、“**地球にやさしい**”と言えるのではないのでしょうか。

(2) 地域における主な環境保全活動

① 草花で、地域を華やかに！

環境科学コースの生徒たちが育てたマリーゴールドや葉ボタンのプランターを、地域の警察署、駅、中学校などに寄贈しています。



② ツリーイングで、木とふれあい！

ロープを使って学校にある木に登る体験を通して、地域の産業を支えてきた森林資源を身近に感じ、木の持つ魅力を再認識しています。



③ 手作りストーブが地球を救う！

県産材の木質バイオマスを燃料とする**ロケットストーブ**を製作し、設置することにより、**地産地消**で温室における化石燃料の使用を削減します。



5 未来の私たち、そして子どもたちのために！

私たちの取組を通して、ふくしまゼロカーボン事業をたくさんの人に知ってもらい、一緒に取り組んでくれる仲間が一人でも増えれば、とても幸せです。

4月に開校する南会津高校でも、ふくしまゼロカーボン事業に取り組んでいきます。

